

平成16年度 利用促進部会活動報告

次世代高度ネットワーク推進会議
利用促進部会 部会長
相原 玲二

1. 利用促進部会体制

地域・産学の関係者間の意見交換・交流を促進し、特に地域におけるJGN の利用促進を通じて研究開発の活性化を図ることを目的として、利用促進部会を設置

活動領域は次のとおり。

- ア 産・学・官・地域と連携した、JGN の利活用促進と研究開発の活性化の検討
- イ 地域協議会との連携等、産・学・官・地域との連携に関する具体的な促進方策の検討
- ウ その他JGN の利活用促進に関する検討

[利用促進部会の構成]

[部会長]
相原玲二(広島大学)

[メンバー]

- JGN 利用者
- アクセスポイント担当者
- 地方自治体
- 総合通信局
- 地域協議会 他

2. 利用促進部会の主な活動状況(1)

本年度の部会開催状況

- ・第1回 平成16年7月21日(水) 於 六本木ヒルズ森タワー
- ・第2回 平成17年1月17日(月) 於 大阪国際会議場(グランキューブ)
- ・利用促進ワーキンググループを設置し、1月と3月に開催



利用促進部会の様子



相原部会長による講演の様子
「JGN 利用報告～利用者の視点から～」



NICT北九州IT支援センター
広岡副センター長による講演の様子
「次世代高度ネットワーク九州地区推進協議会の
設立について」

2. 利用促進部会の主な活動内容(2)

(1) 利用促進における具体的目標の設定

JGN の利用促進における具体的な目標について、第3回幹事会にて下記のように決定した。

利用促進の目的

さまざまな分野の多くの研究者がJGN を利用した研究開発・実証実験を実施し、ユビキタスネットワーク社会の実現に資すること

利用促進の目標 (2005年度末時点)

- ・プロジェクト数が100を超える
- ・全ての都道府県で研究開発が実施される
(可能な限り早期の実現を目指す)

- ・各地域に、ネットワークの先導的人材が育つ

利用促進の指標

- ・研究者数または利用者数
- ・接続機関数
- ・プロジェクト数
- ・分野ごとの研究者数、接続機関数、プロジェクト数
- ・ポート使用数
- ・報道発表数
- ・イベント数 等

- ・学位取得者数
- ・FTTHの普及世帯数
- ・インターネットのバックホーンの帯域
- ・都道府県等の地域情報ハイウエイの数
- ・起業数
- ・特許出願数
- ・論文数 等

直接的な効果

間接的な効果

2. 利用促進部会の主な活動内容(3)

(2) ワーキンググループの設置

利用促進部会の下、利用促進の主体となる利用促進ワーキンググループ(以下「利用促進WG」という。)を設置し、次の活動を行うこととした。

- グループ長及びメンバー相互の意見・情報交換と実情把握
- JGN 利活用の活発化方策の検討
- 具体策の推進と展開(特定地域の支援)
- 利用促進部会での報告

第1回 平成17年1月17日(月)
於 リーガロイヤルホテル大阪 蘭の間

- WG設置の主旨確認
- WGの成果と活動スケジュール
- 特定地域支援の方法 等

第2回 平成17年3月17日(木)
於 三菱総合研究所

- 支援対象地域の選定
- 支援方法の検討

<ワーキンググループ体制>

グループ長 1名

メンバー 4名

3. 今後の活動方針

地域間及び利用者間の情報交換の場の設定

- ・メールマガジンによる情報提供
- ・地域協議会同士の情報交換の場の提供
- ・地域協議会のHP雛形作成

利用ノウハウに関わる情報提供

- ・HPにおける研究計画書の書き方ガイドライン提供
- ・申請方法、接続方法等に関する相談窓口の充実

地域の実態把握と支援

- ・地域の実態について把握するため、次の情報を収集・分析
 - 地域協議会等における地域のニーズ
 - JGNIIのAP立ち上げの際の、想定利用テーマおよび提案者・機関
 - 地域情報ハイウェイの有無及びJGN 接続の状況
 - 地域内の人的ネットワークや参加候補機関の有無
- ・地域の実態とニーズに合わせた支援策の検討
 - 共同研究相手の紹介
 - 参加可能なプロジェクトの紹介(地域分散IX、地域情報ハイウェイ相互接続 等)